

令和4年度(2022年)モニタリングシート

施設名	八木町 学童保育所
-----	-----------

視点	評価項目	6月			9月			12月			所管課 期末評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)
		所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)			
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定時的	職員配置【常勤、非常勤、加配】	B	業務仕様書どおり適正に配置されている。	B	業務仕様書どおり適正に配置されている。	B	業務仕様書どおり適正に配置されている。	B	業務仕様書どおり適正に配置されている。	B	業務仕様書どおり適正に配置されている。	B
		資格者は事業計画どおり配置されているか【「放課後児童支援員」・「放課後児童育成支援員」・「放課後児童専門育成支援員」】	B	事業計画どおり適正に配置されている。	B	事業計画どおり適正に配置されている。	B	事業計画どおり適正に配置されている。	B	事業計画どおり適正に配置されている。	B	事業計画どおり適正に配置されている。	B
		月報(学童保育状況報告書)・日報(育成日誌兼業務日報)を作成しているか	B	適切に作成している。	B	適切に作成している。	B	適切に作成している。	B	適切に作成している。	B	適切に作成している。	B
	定時的	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか【銀行口座の通帳の有無】	B	適正である。	B	適正である。	B	適正である。	B	適正である。	B	適正である。	B
		団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること【独立した会計帳簿】	B	明確化が図られている。	B	明確化が図られている。	B	明確化が図られている。	B	明確化が図られている。	B	明確化が図られている。	B
		延長利用料金の徴収は適正に行われているか【独立した会計帳簿・日報・月報・銀行口座・徴収書】	B	適正に徴収されている。	B	適正に徴収されている。	B	適正に徴収されている。	B	適正に徴収されている。	B	適正に徴収されている。	B
		収支計画が適正であること	B	適正に執行できている。	B	適正に執行できている。	B	適正に執行できている。	B	適正に執行できている。	B	適正に執行できている。	B
		管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	B	研修を実施するにあたり、研修等人材育成がなされているか【研修内容・内容】	B	研修等人材育成がなされている。	B	研修等人材育成がなされている。	B	研修等人材育成がなされている。	B	研修等人材育成がなされている。	B
		給与の支出が適切に行われているか【給与簿・資金台帳】	B	適正に支出されている。	B	適正に支出されている。	B	適正に支出されている。	B	適正に支出されている。	B	適正に支出されている。	B
		施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	B	事業者の経営状況が健全な状態であるか【貸借対照表・財務諸表・財務評価表】	B	適正である。	B	適正である。	B	適正である。	B	適正である。	B
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定時的	入退所等関係書類が滞りなく処理されているか	B	適切に処理されている。	B	適切に処理されている。	B	適切に処理されている。	B	適切に処理されている。	B	適切に処理されている。	B
		利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	B	開所日数、開所時間は守られている。	B	開所日数、開所時間は守られている。	B	開所日数、開所時間は守られている。	B	開所日数、開所時間は守られている。	B	開所日数、開所時間は守られている。	B
		施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	B	文書の管理・保存が適切に行われているか【ファイル基準(なければそれぞれ準ずるもの)・実地調査】	B	適切に行われている。	B	適切に行われている。	B	適切に行われている。	B	適切に行われている。	B
	定時的	参観等、施設保全が適切に行われているか【事業報告書・実地調査】	B	適切に行われている。	B	適切に行われている。	B	適切に行われている。	B	適切に行われている。	B	適切に行われている。	B
		備品の管理が適切に行われているか【備品台帳・実地調査】	B	適切に管理されている。	B	適切に管理されている。	B	適切に管理されている。	B	適切に管理されている。	B	適切に管理されている。	B
		放課後子ども教室への参加・連携がなされているか	B	週5日参加し、放課後子ども教室推進会議に参加する等、連携が図られている。	B	週5日参加し、放課後子ども教室推進会議に参加する等、連携が図られている。	B	週5日参加し、放課後子ども教室推進会議に参加する等、連携が図られている。	B	週5日参加し、放課後子ども教室推進会議に参加する等、連携が図られている。	B	週5日参加し、放課後子ども教室推進会議に参加する等、連携が図られている。	B
		利用者の満足度3.0【利用者満足度調査】	A	利用者の満足度は、3.0以上である。	B	利用者の満足度は、3.0以上である。	B	利用者の満足度は、3.0以上である。	B	利用者の満足度は、3.0以上である。	B	利用者の満足度は、3.0以上である。	B
	定時的	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	B	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか【相談、苦情をまとめた整理簿】	B	適切に対応されている。	B	適切に対応されている。	B	適切に対応されている。	B	適切に対応されている。	B
		利用者への周知・理解及び支援を深める取り組みを進めているか	B	保護者(会)とのコミュニケーション及び支援を深める取り組みが適切に行われているか【おたより、連絡帳】	B	適切に行われている。	B	適切に行われている。	B	適切に行われている。	B	適切に行われている。	B
		節電、節水等経費の節減に積極的に取り組んでいるか	B	積極的に取り組んでいる。	B	積極的に取り組んでいる。	B	積極的に取り組んでいる。	B	積極的に取り組んでいる。	B	積極的に取り組んでいる。	B
定時的	年間行事が事業計画どおり実施されているか【行事計画書、行事参加者簿】	B	滞りなく実施できている。	B	滞りなく実施できている。	B	滞りなく実施できている。	B	滞りなく実施できている。	B	滞りなく実施できている。	B	
	環境の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	B	「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム(H-EMS:ヒュームス)」に基づき、環境に配慮した管理・運営が行われているか【ヒアリング等】	B	使用していない部屋の消灯・節水の児童への声掛け、おやつ空き箱を工作に再利用する等、環境に配慮した行動がなされている。	B	使用していない部屋の消灯・節水の児童への声掛け、おやつ空き箱を工作に再利用する等、環境に配慮した行動がなされている。	B	使用していない部屋の消灯・節水の児童への声掛け、おやつ空き箱を工作に再利用する等、環境に配慮した行動がなされている。	B	使用していない部屋の消灯・節水の児童への声掛け、おやつ空き箱を工作に再利用する等、環境に配慮した行動がなされている。	B	
	防災訓練等(地震、火災、不審者、交通ルール等)は事業計画どおり実施されているか	B	地震を想定した避難訓練を中心に、不審者対応、交通安全等の防犯教育を年12回実施している。	B	地震を想定した避難訓練を中心に、不審者対応、交通安全等の防犯教育を年12回実施している。	B	地震を想定した避難訓練を中心に、不審者対応、交通安全等の防犯教育を年12回実施している。	B	地震を想定した避難訓練を中心に、不審者対応、交通安全等の防犯教育を年12回実施している。	B	地震を想定した避難訓練を中心に、不審者対応、交通安全等の防犯教育を年12回実施している。	B	
定時的	個人情報の取り扱いが適切であること	B	個人情報の保管等適切な管理のための必要な措置が講じられているか【保管庫の鍵、マニュアルの整備、情報セキュリティの厳守】	B	適切に管理されている。	B	適切に管理されている。	B	適切に管理されている。	B	適切に管理されている。	B	
	緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制がとれていること	B	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか【保険証券】	B	適切に加入している。	B	適切に加入している。	B	適切に加入している。	B	適切に加入している。	B	
定時的	事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われているか。また、適正に行えるよう体制が整っているか。【マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】	B	事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われているか。また、適正に行えるよう体制が整っているか。【マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】	B	適正に整備され、体制が整っている。	B	適正に整備され、体制が整っている。	B	適正に整備され、体制が整っている。	B	適正に整備され、体制が整っている。	B	

期末総合評価	B
所管課コメント	市との協定内容どおり、事業運営及び施設の維持管理は適正に実施されている。育成日誌等の帳簿類は適切に記録されており、書類管理や会計処理も適切であり、問題はない。マニュアル類も整備され、学童保育所運営を安定して遂行するよう努めている。保育活動では、法人の特色である「児童や保護者へ寄り添う保育」を実施し、きめ細やかな対応を行っている。今後も、学校、地域の諸団体との連携を強め、学童保育所運営の一層の推進を期待する。